

「立志式に携わる中学生との語る会」

日時：3月10日（日） 午前10時から（会場：区役所1001会議室）

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私が立志の作文を書くとき、「将来、どんな職業に就いているか」を1番に考えました。</p> <p>職業以外にも大切なことはたくさんありますが、これを機に将来を見据え、自分の人生を計画していくことが、今の自分にできることだと思いました。</p> <p>また、就きたい職業を決めておくことで、両親に心配を掛けず、安心して今後を過ごしてもらえと思いました。</p> <p>作文を書いてみて、私は今までたくさん心配を掛けてきたことに改めて気付かされました。こんなにも自分と向き合ったのは初めてで、人生を計画する良い機会になりました。</p> <p>一人前の大人ではありませんが、私なりに両親に安心してもらえるように少しの努力も怠らず、何事にも全力で取り組んでいこうと思います。</p>	<p>今回の立志の作文が自分と向き合う貴重な機会になったと思います。</p> <p>努力を怠らず、何事にも全力で取り組むという思いは、これから訪れる様々な場面でご自身を支え、将来の夢を叶えるためにも大きな力になると思います。</p> <p>また、「これまでに多くの人に支えられてきたことに気付き、支えてきてくれた人たちを安心させられるように頑張ろう」という思いは、優しさにあふれていて、とても素晴らしいと思いました。これからもそのような思いを大切にし、何事にも頑張って取り組んでください。</p> <p>将来の夢は、女優として演技を頑張ることとすることで、ぜひその夢が叶えられるように、努力を続けていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回の作文で「人の優しさ」について考えました。</p> <p>立志の宣言を書くにあたってどんな大人になりたいのか思い浮かんだのは、周りの人を常に思いやることのできる私の祖母です。祖母から、自分のことだけ考えるのではなく、相手の良いところをみて、相手を思い、対話していくことが大切だと学びました。</p> <p>祖母の周りの人は、いつも笑顔です。お互いに相手を大事にし、心で会話をしていると感じました。</p> <p>今回の作文をとおしてたくさん考え、心においておきたいことがわかりました。それは、人にはたくさんの優しさがあり、人との関りの中で相手を思い、対話していくことが大切だということです。</p> <p>将来、人を想うことができる人になれるように、今から自分を支えてくれている人たちとのつながりを、より大切にしていきたいと思います。</p>	<p>周りの人がいつも笑顔になる、とてもすてきなおばあさんですね。</p> <p>今回の作文をとおして、「相手を思い、対話していくことの大切さ」に気付いたというのは、とても素晴らしいことだと思います。</p> <p>「情けは人の為ならず」ということわざがありますが、これは「相手にした親切な行いは、自分にかえってくる」という意味のことわざです。相手を思いやり、優しくできる人は、相手からも好かれて、優しくしてもらえるはずです。そうしたつながりがいくつもできれば、きっとおばあさんのようにすてきな人になれると思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回この宣言をするにあたって、今まで経験した多くのことの中から、音楽の経験をもとに、自分が将来どんな人間になりたいかを考えて書きました。</p> <p>書くときに、将来の夢より「自分がどのような人間になりたいか」を考え、「これから成長していく中で、努力し続けられる人になりたい」「どんなことに対してもあきらめずに挑戦していきたい」と宣言しました。これから3年生となる中で様々なことに挑戦をして、努力し続けられる人になりたいです。</p>	<p>小学校の時に所属していた吹奏楽部での経験が、「努力し続けられる人になりたい」と思うきっかけになったとのことで、「努力」は人生の様々な壁を乗り越えるためにも不可欠なことだと思います。時には、結果につながらないこともあります。その努力をした経験は、自身の成長の糧に必ずなります。</p> <p>ぜひ様々なことに努力して取り組み、より良い自分になれるように頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>何となく中学2年生を終えようとしていた私の、自分のなりたい姿について考えるきっかけとなったのが立志の宣言でした。</p> <p>私はやってみたい仕事がたくさんあり、まとめることが難しかったため、私になりたい私について書きました。私になりたい私は、「自分を愛することができる私」です。「どうせ私には無理」と思っているときこそ、挑戦するべきだと思います。そうすれば、後から自然と自信がついてくると思います。その自信を力とし、どんなことにも挑戦して、誰かの役に立てれば良いなと思います。</p>	<p>「自分のことを愛せる私」、とても良い将来像だと思います。人それぞれ得意・不得意があると思いますが、不得意なことだからとあきらめず、勇気を持って挑戦することは、自分自身の成長につながる大切なことだと思います。</p> <p>元々苦手だった運動が、挑戦したことで好きになれたとのことで、苦手なことでも一生懸命に取り組む姿は、きっと周囲の人たちも見てくれていると思いますし、そのような人たちから認めてもらえたら、より大きな自信になります。</p> <p>ぜひ、今の思いを大切に、積極的にチャレンジしていただけたらと思います。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は最初、立志の宣言を書くためのテーマを何にしようかと迷っていました。そんなとき、以前見た、ハシビロコウの生態についての解説動画のことを思い出して、ハシビロコウをテーマに宣言を書くことを決めました。</p> <p>宣言を書くとき、初めはハシビロコウの生態についての内容が宣言の大部分を占める構成になっていましたが、それでは私になりたい将来像がわかりづらいので、ハシビロコウから学べることや、自分の将来について詳しく書きました。</p>	<p>ハシビロコウは上野動物園でも見られる鳥です。「動かない鳥」として、よく知られていると思います。</p> <p>ハシビロコウの生態から、目標に向かって耐え続けることの大切さを学んだとのことで、人も同じだと思います。目標を達成するために努力を継続することや、物事に集中して取り組むことはとても大切なことです。ぜひ、ハシビロコウのように目標の達成に向けて、努力を続けてください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕は立志の宣言を書きながら、自分がどういう人になりたいのか、その将来について考えることで、自分にとって大切な言葉や、考え方をしっかりと胸に刻みこむことができ、自分の将来の目標への進み方について深く考えることができました。</p> <p>僕は立志の宣言をとおし、自分自身と向き合うことができました。ここで学んだ自分が大事にしていきたいことを、これからの人生や将来の夢に向かっていく中で、存分に生かしていきたいと思いました。</p>	<p>立志の宣言が自分自身と向き合い、これからのことを考える素晴らしい機会になったようで良かったです。</p> <p>ご自身が大切にしている言葉には、「毎日小さな努力を積み重ねていけば、必ずどんなことも乗り越えていける」という思いが込められているとすることで、どんなに大きな目標であっても、小さな1つずつの課題をこなしていくことが必要です。</p> <p>勉強や部活動、将来の夢など様々な目標や取り組むべきことがあると思います。ぜひ日々の生活の中でやるべきことを考えて、少しずつ取り組んでいってください。それがきっと将来の大きな成果につながるはずです。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、立志式の作文を書く前には将来の夢はありませんでした。しかし、今回の作文を書くにあたって、今までのことを振り返りました。</p> <p>私は小さい頃から憧れていた保育園の先生がいました。その先生はとても優しく、たくさんのことを教えてくれました。なので、小さい頃の自分は、その先生のようになりたいと思っていました。</p> <p>中学2年生の職業体験は、保育園で体験させていただきました。私は職業体験をとおして保育士になりたいと、将来の夢を明確にすることができました。今回の立志を踏まえて、将来の夢に向かって努力していきます。</p>	<p>中学校での職業体験が、「保育士」という将来の夢を明確にする機会となったようですね。</p> <p>保育園の先生たちは、子供たちが帰った後に教室の掃除や片付けをされていて仕事がたくさんありそうだったとのことで、職業体験を通じて、保育士の仕事の大変さもやりがいも感じられたと思います。</p> <p>憧れの先生のように、優しく、子供たちに寄り添った保育士になれるように頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、責任感のある大人になりたいです。4人姉妹の長女で、妹が自分の真似をしている実感がなかった私ですが、自分の悪いところを妹が真似してしまったという経験から、妹の手本となるような大人になりたいと思うようになりました。</p> <p>そして、妹の手本となる大人とは何かを自分なりに考えた結果、自分の言動に対して責任感がある人だと思いました。</p> <p>今回、立志式の作文を書いたことで、自分の考えがまとまったと思います。作文に書いたこと、そのときの自分の思いを忘れず、具体的な夢ができたとき、夢を実現するために一步一步突き進んでいきたいです。</p>	<p>よく「真似る」と「学ぶ」は同じ語源と言われます。実際に私たちも何か上手になりたいと思ったときに、誰かの「真似」をすることで「学ぶ」経験があります。</p> <p>おそらく妹さんも真似ることで、いろいろなことを学んでいるのだと思います。</p> <p>そして、妹さんのお手本となるために「責任感がある人になりたい」とのことで、とても素晴らしいことだと思います。</p> <p>「責任感ある人」は、周りの人からの信頼も得られると思います。ぜひその気持ちを忘れずに、これからも頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は立志式で、将来、教師になりたいということを自分の志として宣言しました。</p> <p>宣言を書いて、自分自身を見直す機会になりました。宣言の1つに教師になるために直したいところというものがあり、とても考え、悩みました。なぜなら、自分の行動から弱さや至らないところを見つけなければならぬからです。最初は「何がダメなのだろう？」と悩みましたが、1人になり自分と向き合ってみると、日々の生活の中でたくさんの弱い点・至らない点が見つかりました。</p> <p>このように立志の宣言を書いて、私は自分を見つめ直し、自分の弱さ・至らなさとなる短所を長所に変えるための目標を見つける機会になったと考えます。これを達成するために、日々の生活を意識して過ごしていきたいです。</p>	<p>教師という将来の夢を明確に持っていることは、素晴らしいと思います。</p> <p>そして、夢を叶えるために自分の短所を見つめ直し、長所に変えようと取り組む姿勢もとても素晴らしいと思いました。</p> <p>きっと、その実現のためにたくさん悩んだり、自分と向き合ったりした経験は、将来、ご自身にとって大きな財産になると思います。教師になって、思い悩んでいる子供たちがいたら、ぜひどのように取り組んできたのか、教えてあげてください。</p> <p>子供たちに優しく寄り添える教師になれるよう、私も応援しています。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私の将来の夢は、「たくさんの人に信頼され、必要とされる存在になる」ということです。これは自分が将来、どのような道に進んだとしても必要なことだと考えます。</p> <p>私の思う「必要とされる存在」とは、誰かに「あの人に任せるのが1番だ」と思い出しもらえる存在です。「あなたにしかできない」と頼ってもらうためには、「厚い信頼」が重要です。</p> <p>そのため、立志式では「たくさんの人に信頼され、必要とされる存在になる」という夢に向かってこれからも頑張っていくことを宣言しました。</p>	<p>「たくさんの人に信頼され、必要とされる存在になる」というのは、将来どのような道に進んでも必要なことだと思います。</p> <p>自分の仕事に責任を持ち、他の先生からも頼られていた小学校の養護教諭の先生との出会いが、今回のような夢を持つきっかけになったことで、とても素晴らしい先生との出会いがあったようです。</p> <p>現在、学校の活動でも活躍されていると伺っているので、今後も生徒の皆さんから「厚い信頼」を得て、夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言を書くとき、まず感じたのは自分の成長です。自分で自分の成長に気付くことはあまりなく、きっと立志の宣言を書き、昔の自分やこれからの自分と本気で向き合うことをしなければ、わからなかったことだと思います。なので、立志の宣言を書くことは、私にとって成長を感じる良い機会になりました。</p> <p>私たちは今14歳であり、あと4年後には成人となります。立志の宣言を書き、大人になっていく自覚を持ち、これからの将来を前向きに進んでいきたいです。そして、これまで育ててくれた家族や、支えてくれた方々への感謝を忘れずに、日々を過ごしていきたいです。</p>	<p>立志に宣言を書くにあたり、ご自身の成長を感じる事ができたとのことで、貴重な機会になったと思います。</p> <p>人と関わるのが得意ではなかった自分が、中学生になってから委員会や部活動に入り、多くの人と関わるようになったことで成長できたとのことで、自分を変えようと勇気を出して挑戦したことは、とても素晴らしいことだと思います。</p> <p>これからも様々なことに挑戦をする中で、上手くいくこともいかないこともあると思いますが、きっとその経験は自分をさらに成長させてくれるものだと思います。将来を前向きに進んでいく気持ちを忘れずに、これからも頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>作文を書くにあたって成長を感じました。忘れ物も「あきらめる」のではなく、「終わらせようと努力する」ことで、忘れ物自体良くないことですが、「あきらめない心」というものが芽生えたと思いました。</p> <p>また、緊張してしまうため、私は人前に立つことが苦手でしたが、今回大舞台に立ったこともあり、大きなことに挑戦できたと思います。</p>	<p>「あきらめない心」は、非常に大切なことだと思います。「七転八起」ということわざもありますが、転んでもまた立ち上がって頑張ることを今のうちから続けていけば、あきらめない心はどんどん育っていくと思います。</p> <p>また、何か失敗したときに「仕方がない」とあきらめるのではなく、「次は気を付けよう」とか、「次はこうしてみよう」というふうに考えてみると、きっと同じような失敗は減っていくと思います。</p> <p>今回の立志の宣言を通じて、ご自身の成長を感じることができたとのことで、今日この場で発表してくれたことも、ご自身の成長を感じる機会になっていたら私もうれしいです。</p> <p>これからもぜひ、いろいろなことに挑戦してください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は今回、立志式の代表生徒をやるにあたって、今の自分と将来なりたい自分を比較し、今の自分自身の課題を見つけ出しました。</p> <p>私が考える立志の宣言とは、自分の課題を知り、大人になるということだと思います。</p> <p>私はこの立志式を機に、大人の第一歩を踏み出していきたいです。</p> <p>また、私は立志式を行う前までは、本当に自分で良いのかとすごく不安でしたが、終わった後に「良い立志式だったよ」とたくさんの方に声をかけていただきました。このことを自信にして、これからも歩んでいきたいです。</p>	<p>今回の立志の宣言を書く中で、自分自身の課題を見つけ出したのですね。</p> <p>将来の夢はアナウンサーとのことで、アナウンサーの仕事は、番組の進行やスポーツ実況をしたり、災害時には現地から報道したりと様々です。また、正しい情報を伝えるためには、事前に情報収集に励んだり、話す内容を上手に組み立てる力も必要だったりします。大変なお仕事だと思いますが、その分、やりがいもとてもあると思います。</p> <p>ぜひ、日々努力することを忘れず、アナウンサーという夢に向かってこれからも頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕は立志の作文を書くときに、「自分の将来の夢はスポーツ選手」ということをあげました。しかし、自分はまだまだスポーツ選手になるには程遠いと感じました。</p> <p>なので、これからの部活の練習や家でのトレーニング、体づくり、苦手なことなど、何事も最後までやっていくと決めました。</p>	<p>目標に向かって、日々取り組んでいくことを決めたとのことで、どのようなスポーツ選手になるのか、私も楽しみになりました。</p> <p>普段の部活動の中でも、「練習では自分が1番下手だと思い、試合では自分が1番上手い」と思ってプレーをされているとのことで、とても素晴らしい心がけだと思います。</p> <p>これからもその気持ちを大切に、日々の練習やトレーニングを頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は2年生になり、志を立てると言われたとき、あまりパツと思いつくものはありませんでした。</p> <p>ふと考えついたのが、人に尽くせる人になりたいと思いました。そのきっかけは、今まで助けてくれた人や見守ってくれた人に、恩返しをしたいと思ったからです。</p> <p>私は、誰かのために行動したり、助けてあげられたりする仕事だと考えたのが、「養護教諭」だと思いました。</p> <p>今、私には大きな目標がありますが、叶えることができるかは自分次第だと思います。なので、日々日常で自分なりの工夫をしながら、努力していきたいです。</p>	<p>養護教諭になることが目標とのことで、学校に通う子供たちの心身の健康の支えとなる、素晴らしい職業だと思います。「人に尽くせる人になりたい」という思いにもぴったり合うと思います。</p> <p>夢に向かって自分を磨く努力を続けるとともに、ぜひ周りにも目を向けて、困っている人がいたら積極的に助けてあげてください。特に学校は、同世代のいろいろな考えを持った友人がいるので、たくさんそのような機会があると思います。</p> <p>養護教諭には、子供たちとのコミュニケーション力が必要だと思います。今がまさにコミュニケーション力を磨く絶好のチャンスです。これからも目標に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>最初に立志の代表に選ばれたときは、何で私がやらなきゃいけないのだろう、と思いながら練習をしていました。ですが、1度書いた作文をもとに、何度も書き直してたくさん練習しているうちに、とても大変でしたが、少し楽しいと思えるようになってきました。</p> <p>私は人前に立つのが苦手ですが、今回、立志の宣言をすることで少し自信が持てるようになったと思います。</p> <p>私が宣言したことが実現できるかどうかはわかりませんが、これをきっかけにして今後に生かしていきたいです。</p>	<p>人前で話すことは、とても緊張しますよね。しかし、今回のような場面を乗り越えることで成長し、自信が持てるようになります。これからも困難に感じる状況が何度も訪れると思いますが、ぜひ、そうした機会をチャンスと思って、積極的にチャレンジしてみてください。きっと素晴らしい達成感を得られると思います。</p> <p>保護猫との出会いから獣医師になることが将来の夢になったとのことで、獣医師は動物に対しての知識や愛情はもちろん、飼い主の気持ちも汲み取れる人間的な温かさが必要だと思います。周りの人とのコミュニケーションも大事にしながら、夢を叶えられるように頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私が立志の宣言を書くにあたって感じたことは、言葉にすることの大切さです。</p> <p>自分の好きなこと、将来の夢、その夢に向かって何をするかを、文にして細かく書くことで、自己理解や自分が何をすべきかを理解することにつながります。</p> <p>夢を語るとやはり少し恥ずかしいですが、この恥ずかしさを乗り越えたら、自分の書いた文が私の背中を強く押してくれるのです。</p>	<p>自分の考えや思っていることを文章にしたことで、改めて自分自身のことを理解できたのですね。自分の頭で考えていることを紙などに書き出してみると、それが目に見える状態になり、より考えが整理されて理解が深まることがあります。きっとこれからも役に立つことだと思うので、ぜひこの経験を覚えておいてください。</p> <p>「絵を描く仕事に就く」という将来の夢に向けて、高校で美術を学ぶために今もデッサンを学んでいるとのことで、自分なりに目標を決めて取り組んでいこうとされており、とても素晴らしいと思います。今回決めた目標を忘れず、夢に向かって頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>「立志」について考えるにあたって気付いたことがあります。14歳の私が始める行動が、未来の私の可能性を広げることにつながるということです。</p> <p>将来の自分について漠然とした何かはありましたが、文章で表現しようとする中々上手くまとまりませんでした。しかし、これだけは言えます。可能性は無限大です。私たちの人生はまだこれからです。無理に夢を1つに絞ろうとせず、たくさんの夢を抱くことも、自分のあらゆる可能性を存分に引き出す1つの方法になるのではないかと思います。</p> <p>だからこそ、自分の好きなことに全力で向き合い、今この瞬間を大切に生きていきたいと思っています。</p>	<p>「可能性は無限大」という言葉がありました。私もそのとおりだと思います。今はまだはつきりとした1つの夢が無くて良いと思います。まだ知らない職業もあるでしょうし、これからいろいろな経験をすることで、好きなことやちょっと苦手なことなどがきっと見つかるはずです。</p> <p>また、「今の自分が未来の自分の可能性を広げる」ということも、まさにそのとおりだと思います。</p> <p>現在、ダンスを頑張っており、今後は法律について学びたいとのことで、何となくやるのか、それとも小さくても毎回目標を持ってやるのかでは、きっとその成果が違ふと思います。</p> <p>14歳でこのような大切なことに気付けたことはとても素晴らしいと思うので、これからも今の気持ちを大切に、全力で頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>僕がこの作文を書くにあたり、現在中学2年生になるまでに起きたことを思い出しながら書きました。</p> <p>小学校までは普通に過ごしていたのに、中学でいきなり病気になり、いろいろと大変な思いをしながらも、親や友達に支えられたことを書きました。</p> <p>そして、宣言をした「何にでも挑戦する人間」は、病気を気にせず、やることをやるということを考えながら書きました。</p>	<p>病気で大変な思いをされたと思いますが、ご家族や周りの友達に支えられて、今は体調も落ち着いているとのことで、本当に良かったです。</p> <p>そして、「何にでも挑戦する」という経験は、特にみなさんぐらいの年代では必ず自分の財産になると思います。</p> <p>将来の夢は小学校の教師とのことで、ぜひたくさんの方に挑戦をして、夢を叶えて、将来自分の生徒たちにいろいろなことを伝えてあげてください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>立志の宣言では、自分の将来の夢と、努力と成長の関係性について書きました。</p> <p>私は、あまり将来のことについて考えたことがなかったので、とても難しいと感じました。しかし、今頑張っていることや大きな夢、目標があるということは、全員に共通していることであり、立志の宣言を書くにあたって初めて気付きました。</p> <p>このことから、立志の宣言とは、自分の気持ちときちんと向き合うためのものだと考えました。</p>	<p>普段の生活の中では、忙しくて自分の将来のことを考える機会は中々ないですね。今回の立志の宣言がそうした機会になり、大きな気付きがあったのは、とても素晴らしいことだと思います。</p> <p>自分自身と向き合うことは、とても大切なことです。今後、受験や就職など、人生の転機には必ず必要になると思いますので、ぜひ今回向き合った自分の気持ちを大事にしてください。</p> <p>将来は管理栄養士になりたいとのことで、管理栄養士は国家資格が必要なので、専門的な知識が求められると思いますが、これからも努力を続けていただければ、きっと夢は叶えられるはずです。頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>この作文を書くにあたって感じたことは、主に2つあり、1点目は職業体験です。夏に行った職業体験で、保育園で働き、そこで働くにあたって、何が必要で大切なことは何かなどを教えてもらいました。</p> <p>2点目は感謝です。職業体験でたくさん学びをくださった方々に、感謝の気持ちを込めました。</p>	<p>職業体験によって、素晴らしい経験ができたようですね。実際に働き、また働いている人からアドバイスを貰うことで、より具体的な将来のイメージが湧いたと思います。</p> <p>将来は保育士になりたいとのことで、ご両親が共に働いているご家庭が増えていることから、保育士の必要性も増していると思います。</p> <p>子供はもちろん、保護者の助けにもなる仕事です。ぜひ、今回の体験で感じた思いを強く持ち続けて、頑張ってください。</p>

◇立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと

発言	所感
<p>私は、努力できるところが自分の長所だと気付いたことや、努力が実った経験から、大人になるうえで1番大切なことは「努力」だと思いました。「どのような大人になりたいか」などの理想像や、「どのような職業に就きたいか」などの目標のためには、努力が欠かせないと思ったからです。</p> <p>私は立志の作文を書くにあたって、これからの生活で大切にしたいことを明確にすることができました。高校生になっても、大人になっても、今までの努力に自信をもって、さらに自分を高めていくために、努力を継続したいと思いました。</p> <p>立志の作文を機にこの強い決意を忘れず、これからの生活に活かしていきます。</p>	<p>「努力できること」というのは、とても自分の強みになることだと思います。将来の夢を叶えるためにも必要なことであり、夢が叶ってからも必要になります。</p> <p>昨日の自分よりも少しでも成長できるように努力を続ければ、きっと素晴らしい人生を過ごせると思います。努力が目に見えた結果にならなくても、必ず自分の成長につながります。</p> <p>これからもその強い思いを胸に、様々なことに励んでください。</p>